

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願ひ

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	急性期病院における進行性神経内科疾患患者の離床活動促進の取り組み ～患者の望む活動に合った目標立案を目指して～
研究責任者	聖隷浜松病院 C9 病棟 西 美保
研究実施体制	看護部 C9 病棟:塩塚美香、片岡愛美、筒井亜美、山本将太、吉村彩音 看護部管理室:鈴木千佳代 リハビリテーション部:仲山知宏 神経内科:明神寛暢
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2020 年 5 月 31 日
対象者	2020年1月1日～4月31日までの期間に聖隷浜松病院のC9病棟に入院し離床シートを使用した神経内科疾患患者、C9病棟の看護師、C9病棟の患者に介入している理学療法士・作業療法士
研究の意義・目的	患者自身が意欲的に離床活動に取り組むことで、入院早期からのHAD予防を行い、患者の望む生活に近づけることを支援できる
研究の方法	【研究のデザイン】 量的記述研究 【方法】 対象患者について、離床シート(目標、アクティビティ、訓練の記載内容)、電子カルテのリハビリ記録や看護記録(目標立案時の患者の反応や目標立案時のプロセスの記録) 対象の看護師・理学療法士・作業療法士に対して、離床シートや目標立案の学習会の実施、スタッフへのアンケート(教育の前後で実施) 【分析】 教育と離床シートの改訂により目標立案できたか上記のデータより比較、分析する
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧ください。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 看護部 西 美保 TEL:053-474-2222(代表) C9 病棟 9:00～17:00 平日